

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議
_____						

別記様式第4号

会 議 結 果 等 報 告 書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文 書 番 号	1019
		決 裁 期 日	平成20年1月23日
名 称	平成19年度社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議		
日 時	平成20年1月22日(火)午後1時30分~4時20分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	出席委員 13名(本田・金子・山根・山本・稲毛・安西・安川・岡和田・岡本・納谷・多湖・芳賀・丸山) 教育長、教育振興課長、社会教育班主幹、主査(林・鈴木) 主事(飯村・座間・佐藤根)		
内 容	教育振興課長 進行		
	教育長挨拶：子年は12年の中でも豊作に恵まれる年でもあり、オリンピックも開催されるため、スポーツで盛り上がるのが期待できます。また、町は計画策定の年でもあり、町の総合計画並びに教育振興基本計画(仮称)の中で第7次社会教育中期計画を策定していきたい。計画を立てることが目的にならぬよう、いかに実行していくのか、計画した事に対して生かしていけるのかを考えて取り進めていただきたい。		
	2008年度の教育推進の重点は、平成19年度に引続き「早寝・早起き・朝ご飯」「真心の挨拶運動」と「基礎学力の向上」の3点とします。		
	社会教育委員長：石油の高騰により灯油等や各商品も値上げとなり、日常生活も厳しさを増している。いよいよ第7次社会教育中期計画も本格的に作業を始めていくため、各委員さんのご協力をお願いしたい。		
	社会教育委員長進行		
	議 題		
	1. 平成20年度予算編成について・・・社会教育班主幹説明。		
	予算概要について		

委員長：前年対比 94%、事業等見直しにより縮減となっている。質問  
意見ないか。

委員：なし。

社会教育施設概要について

委員長：社会教育中期計画(総合計画)で見直していく。意見ないか。

委員：なし。

2. 平成 20 年度社会教育関係団体補助金について・・・社会教育班主幹説明。

委員長：女性連絡協議会 20 周年事業について増額。平成 16 年度に  
対して 13%縮減されている。質問・意見ないか。

委員：なし。

委員長：承認して宜しいか。

委員：承認。

3. 第 7 次社会教育中期計画について・・・社会教育班主査説明

町の総合計画との関連について

委員長：町民アンケート、基本目標・評価報告についての質疑。

山本委員：基本目標に対して、達成ツールの 5 項目はこれから決定  
するということだが、あらゆる領域で検討するのか。

主査：5 基本目標と 5 達成領域の 25 項目について対象とし、関  
連のあるところは全て検討項目となる。

岡和田委員：10 年間の人口の増減について、少子高齢化の数値は  
イメージが湧くが、生産人口の推移はどうなのか。

主査：生産人口は目標値に対して増となっているが、1,000 人を  
超える減少となっている。

教育長：若者(15~29 歳)定住確保(80 名)の目標に対しての成  
果と今後の見直しが重要。

岡本委員：総合計画はどのような体制で進めているのか。

教育長：総務課が担当し庁内に策定委員会を設け作業を進めている。

また、総合計画審議会に図り計画を策定していく。

納谷委員、安川委員：学習が必要で、現時点では質問・意見はない。

山根委員：基本目標の「地域の宝」について、イメージが捉えにくい。具体的な表現が必要ではないか。「紡ぐ」という表現も難しい。

教育長：人材や文化・スポーツ、施設等様々な「宝」をイメージしているのではないか。皆さんのご意見は、事務局に伝えていく。

委員長：社会教育中期計画は総合計画と平行して進めていく為、今後  
も会議において情報提供していただくことで進めていきたい。

委員：了解。

町の現状について

山本委員：関連図について、教育振興基本計画を策定することになるが、どのように進めていくのか。

教育長：学校教育は校長会で進めており、連携や整合性はとっていくので、随時会議の中で報告していく。最終的に1つにまとめたものが、教育振興基本計画と考えている。

委員長：質疑が無いようなので、各部会でグループトークを開催していただきたい。前回の部会会議から時間が経過しているので、確認も含めて町の現状についてお願いしたい。

3部会に分かれて話し合う。内容は次回会議にて報告。

岡和田委員：次年度の会議開催時間について、夜間を希望する。

主査：開催時間は調整する。

その他 次回は2月25日(月)9時30分～11時30分教育推進会議、午後に社会教育委員の会議を引続き開催予定。 (終了)